

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : プレフィニッシュ造作材用接着剤NT
会社名 : 東立化成工業株式会社
住所 : 東京都足立区神明南二丁目十六番九号
担当部門 : 技術部
電話番号 : 03-3605-3181
FAX番号 : 03-3620-7194
緊急連絡先 : 03-3605-3186
整理番号 : 300-161A

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

自然発火性液体
引火性液体

区分外
区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)
急性毒性(吸入:蒸気)
皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)
吸引性呼吸器有害性

分類できない
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない
区分1
分類できない
区分2
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性・急性
水性環境有害性・慢性

区分外
区分外

※ 記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ
皮膚に接触すると有害のおそれ
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
発がんのおそれの疑い

注意書き

予防策

- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 屋外又は換気の良い場所で使用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

対応

- 火災の場合には適切な消火方法をとること
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 直ちに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと
- 衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
- 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

保管

- 容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること

廃棄

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名(一般名・別名) : エチレン・酢酸ビニル共重合体系水性エマルジョン接着剤

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
酢酸ビニルモノマー	<0.5	2 - 7 2 8	108-05-4

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の場合に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴をぬぎ、大量の水で洗い流す。洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗浄する。専門医の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措

- 消火剤 : 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤が有効
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消火する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。延焼の恐れのないように散水して、建物などの冷却に努める。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域、河川、湖沼へ流入しないように注意する。流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る
- 除去方法 : 少量の場合はウエス等で拭き取る。大量の場合は漏出液を密閉のできる容器にできる限り集め、残留液を土、

二次災害の防止 : 砂、ケイソウ土、おがくず等の不活性吸収剤に吸着させ、回収する。
 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い

技術的対策 : 換気の良い場所で行う。
 : 目・皮膚への接触を防止するため、保護眼鏡・保護手袋等の保護具を着用する。
 注意事項 : 取扱いは局所排気設備のある場所で行い、取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行う。
 安全取扱い注意事項 : 適切な保護具を着用する。関係法規に準拠して作業する。

保管

適切な保管条件 : 凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。
 : 保管時の温度は5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。
 : 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
 安全な容器包装材料 : 不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては密閉された装置、機器又は局所もしくは全体排気装置を設置した場所で行う。

管理濃度・許容濃度 :

	管理濃度		許容濃度	
	日本産業衛生学会(2000年度版)		ACGIH(2005年度版)	
酢酸ビニルモノマー	未設定	未設定	10ppm(TWA)	15ppm(STEL)

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型)
 皮膚及び身体の保護具 : 安全靴、長袖作業衣等

9. 物理的及び化学的性質

形状 : エマルジョン
 色 : 乳白色
 臭い : 僅かな酢酸臭
 pH : 4 ~ 6
 引火点 : なし
 密度 : 1.01 ~ 1.10g/cm³ (20℃)
 溶解性 : 水で任意の割合に希釈可能

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取り扱い条件においては安定
 反応性 : 特記すべき反応性なし
 危険有害な分解生成物 : なし

11. 有害性情

急性毒性 (経口)

製品のデータ : 情報なし
 成分のデータ : 酢酸ビニル 区分5 2,900mg/kg (ラット)

急性毒性 (経皮)

製品のデータ : 情報なし
 成分のデータ : 酢酸ビニル 区分5 2,335mg/kg (ウサギ)

急性毒性 (吸入: 蒸気)

製品のデータ : 情報なし
 成分のデータ : 酢酸ビニル 区分4 3,184ppm (ラット)

皮膚腐食性/刺激性

製品のデータ : 情報なし

成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 3
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 2 A
呼吸器感作性		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 該当なし	
皮膚感作性		
製品のデータ	: アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 1
生殖細胞変異原性		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 2
発がん性		
製品のデータ	: 発がんのおそれの疑い	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 2
生殖毒性		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 該当なし	
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 2 (呼吸器)
吸引性呼吸器有害性		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 該当なし	

1.2 . 環境影響情報

水性環境有害性・急性		
製品のデータ	: 河川に流出した場合はエマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため魚類死亡する場合がある。	
成分のデータ	: 酢酸ビニル	区分 2 メダカLC50 (96時間) 2.39mg/
水性環境有害性・慢性		
製品のデータ	: 情報なし	
成分のデータ	: 該当なし	

1.3 . 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして、処理を委託する
 洗浄水等の廃液は凝集沈殿、活性汚泥などで処理することが出来る。その他、水質汚濁法、廃棄
 の処理及び清掃に関する法律の定めるところに従う。
 包装容器を廃棄するときは、産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

1.4 . 輸送上の注意

国連分類	: 非該当	国連番号	: 非該当
輸送の特定の安全対策及び条件			
注意事項	: 容器毎に、栓の締め具合、漏れの無いことを確認し、容器の転倒、落下、摩擦等、 容器の損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 保護具、消火器を携帯する。		
国内規制	: 規制はなし		
国際規制	: 規制はなし		

1.5 . 適用法令

化学物質管理促進法	: 該当せず
労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物 (第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
	酢酸ビニル
消防法	: 該当せず

1.6 . その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いは十分注意して下さい。

ホルムアルデヒド基準：日本接着剤工業会室内空気質汚染対策のための自主管理規定
登録番号： J A I A - 0 1 1 8 2 8 F☆☆☆☆

参考資料：日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」
日本エマルジョン工業会「合成樹脂エマルジョン製品安全データシート作成の手引」
J I S Z 7 2 5 3 安全データシート (S D S)
化学工業日報社「化学物質管理促進法 対象物質全データ」
日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

SDSの記載内容に関するお問い合わせは販売ルートを通じてお申し出下さい